

「学内環境美化」について

施設環境部施設計画課長 稲垣 實造

山口大学では、「キャンパスクリーン作戦」として、教職員及び学生が一斉に構内の除草、ゴミ拾いを行っています。今年度は総勢1,500名程が参加しております。



吉田キャンパス クリーン作戦

私たちのキャンパスを
もっときれいに!

あなたも魅力あるキャンパスづくりに参加しませんか!

- 日時
平成18年7月6日(木) 午後3時～5時
雨天の場合は、7月7日(金)に順延
- 作業範囲
吉田キャンパス建物周辺
- 参加対象者
大学構成員(教職員、学生)
- 作業内容
除草、ゴミ拾い
※ゴミ袋の配布場所及び、集積場所は図示による。



また、学内の緑化活動として各学部毎に花壇の整備などを行っています。次頁にその活動状況の一例を示します。

◇ 農学部の花壇の整備

農学部の建物は平成14年度に全面改修が完了し、教育研究の環境は飛躍的に改善されましたが、建物周辺の緑地は昭和41年移転した当時からほとんど整備されていない状況であり、「環境」と「生物」を理念に掲げている学部としては、相応しからざる状況でした。

これらの改善を図るため、平成15年度からの年次計画により建物周辺の環境を、緑化等により推めてきました。これまで取り組んだ主な整備状況は以下のとおりです。

①. 中庭に花壇の設置

学生主体により花壇を管理させ学科別に毎年必要経費を予算化し、各学科の学生がそれぞれ四季折々の花を植え癒しの場となっています。

②. 玄関両サイドの緑化

ケヤキの根元周辺は雑草と土が露出し、学部の表玄関として相応しい環境ではなかったため、一面を緑化のうえ灯籠を設置し環境美化を行いました。

③. 建物西側路側帯の緑化

通行量の多い歩道に面した西側の緑地は、土が露出し大雨の際は泥が歩道に流出していたため、自然石の組石により土留めのうえ花壇を設け環境美化を行いました。



◇ 工学部の花壇の整備

工学部では、キャンパスに「ゆとり」と「うるおい」を与える空間として本館中庭等に花壇の整備を積極的に行っています。この活動は、本学の「おもしろプロジェクト」で採択を受けている学生サークル「エコファイターズ」や教職員有志のボランティアにより行われています。

特に、昨年5～6月においては、本館の中庭や福利厚生棟前広場の空地を利用して、「エコファイターズ」が中心となり、花壇づくりから花の品種・色選び植栽の配置等のデザインの作成まで行いました。また、水やり等の管理も学生が独自にローテーションをつくり取り組みました。

この活動については、前学部長を中心に教職員を対象に募られた基金である「キャンパスうるおいファンド」の資金が充てられています。

現在の本館の中庭においては、ブルーサルビア・マリーゴールド・ペチュニア等が色とりどりに咲き競い、キャンパスのほかの箇所においても様々な花が今を盛りと咲き誇り、キャンパスに「ゆとり」と「うるおい」を与える空間となっています。



このような取組は、前記の学生サークルである「エコファイターズ」と同様に平成13年度に採択を受けた「おもしろプロジェクト」の「新緑茂り綺麗な花薫るキャンパス造り～花壇の再生～」から、断続的にキャンパス内で行われているものであり、教職員・学生による常盤キャンパスの環境美化への取組及び活動は、今後も継続して実施し、引き継いでいきたいと考えています。

◇ 経済学部の花壇の整備

経済学部においては、環境美化、緑化の一環として、毎年1～2回、教職員・学生による除草、落葉拾い、庭木の剪定作業等を行っています。

こうした中、経済学部学生ゼミナール連合協議会は、修学・生活環境の改善と環境美化、更には学生の環境に対する意識啓発・高揚のため、かねてから構内に花壇を設置したいとの計画を持っていました。

平成17年の経済学部創立百周年記念行事を契機として、この計画を具体化するため、ゼミナール連合協議会の組織として新たに「環境局」を設置し、本格的に活動を開始することになりました。環境局の設置と共に、約8㎡の花壇を造り、一年中花が咲き誇るよう季節毎の花を植栽しました。

花壇の造成にあたっては、学生自ら構内の堆肥、落葉等を集めるなど、まさに手造りの作業です。現在では、四季折々の花が咲き、学生、教職員の心を和ませるものになっています。

今後は、花壇の維持・管理を行うと共に、遊休地を有効利用して更に花壇を造り、環境美化活動を継続的に行っていく予定です。



環境マネジメント体制が確立されたことにより、従来、各学部毎で取組んでいた環境配慮活動が、大学全体の統一した活動として、志気が高まってまいりました。